

**令和7年度
佐賀空港航空灯火施設等運用管理委託(12月～3月分)**

報告書(定型)様式

令和7(2025)年度

佐賀空港事務所

--	--	--	--	--	--	--	--

飛行場灯火等施設・電気施設点検記録簿						その1	
年 月 日 () 天候				日勤者			
受配電設備点検記録 点検時刻				点検者			
機 器 名	判 定	指 示 計 器 記 録 及 び 記 事		機 器 名	判 定	指 示 計 器 記 録 及 び 記 事	
使用電力量	kWh		本日指示値	kWh		前日指示値	kWh

飛行場灯火等施設・電気施設点検記録簿						その2				
飛行場灯火等点検記録簿点検時刻			夜勤者				点検者			
飛行場灯火等施設名		判定	記事		飛行場灯火等施設名		判定	記事		
本日の進入灯台点灯時間 h 電気室温度（ ℃） 電流値測定時間										
CCR 機器回路名		T-1 (2.8A)		T-2 (3.4A)		T-3 (4.1A)		T-4 (5.2A)		T-5 (6.6A)
						T-3 (4.8A)		T-4 (5.5A)		T-5 (6.6A)
<引継事項>										
<記事>										
(注) 1 判定欄は○(良好)、△(不点箇所あり)、×(要改修)のいずれかの記号で記入すること。										

第3号の3様式（日本工業規格 A4）

部 品 取 替 簿

[illegible]

(注) 1 個数を記入すること。

2 灯器はその設置Noも記入すること。

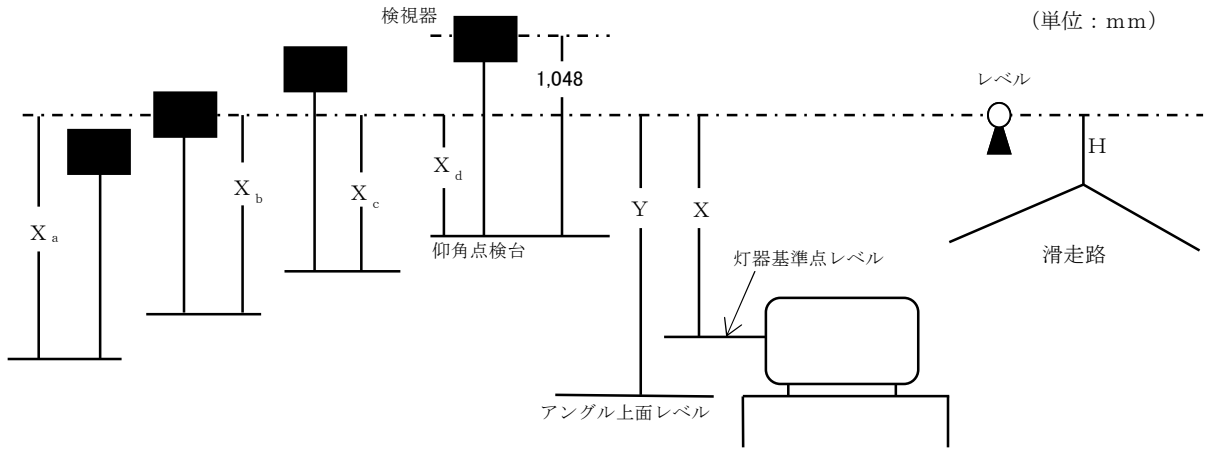
P型進入角指示灯（P A P I）設置高さ及び仰角点検記録表

測定日 年 月 日
測定者

----- H ・										----- 進入角				側	
$\theta_d =$ ° , 		D →													
$\theta_c =$ ° , 		C →													
$\theta_b =$ ° , 		B →													
$\theta_a =$ ° , 		A →													
↑ 傾斜計	↑ チャンネル上面：Y		↑ 基準点：X				↑ 点検台：X _a ～ _d		↑ 検視器						

$\theta_a \sim d$: 灯器A～Dの設定仰角
灯器基準点とP L₀における滑走路中心レベルの差 h =
基準点の移動値 K =

X = H - h - K	=		-		-		=	
Y = X + 300 (灯器固有の高さ)	=		+	300			=	
X _d = X - (20,000 × tan θ_d - 1,048)	=		-				=	
X _c = X - (20,000 × tan θ_c - 1,048)	=		-				=	
X _b = X - (20,000 × tan θ_b - 1,048)	=		-				=	
X _a = X - (20,000 × tan θ_a - 1,048)	=		-				=	



委 託 名		実施業者名		作業管理者及び作業責任者等		確認印	
佐賀空港航空灯火施設等運用管理委託（航空灯火保全）		〇〇株式会社		作業責任者： 〇〇 〇〇			
				作業管理者： 〇〇 〇〇			
作業日時		作業時間帯		県空港事務所確認者			
年 月 日 （○曜日）		運用時間内： ～					
		運用時間外： 22:00 ～ 2:00					
作業内容		作業場所（グリッドマップ位置）		主要作業車両種類及び数量等			
		図示のとおり		車種	規格	寸法	台数
		携帯無線機番号（作業時）					登録番号
		対管制塔用： さがこうこうかんり 40					
		対事務所用： さがこうこうかんり 11					
		緊急時連絡先（携帯電話番号等）					
		工事責任者： 中西 祐星					
		080-0000-0000					
作業員人数	人	作業ノ外番号	使用門扉番号	No.			
作業場所位置図							

様式－2
佐賀空港事務所

日常保守点検記録簿 予備自家発電設備点検表		課 長				点 検 者	
令和 年 月 日 () 天気 気温 点検時刻 時 分							
一次側電源系統		〇〇〇KVA 発電装置					
一次側電源電圧	V	外 気 温 度		℃			
周 波 数	H z	室 内 温 度		℃			
電 流 R	A	冷却水入口温度		℃			
電 流 S	A	冷却水出口温度		℃			
電 流 T	A	潤滑油入口温度		℃			
電 力	kW	潤滑油出口温度		℃			
力 率	%	室内燃料槽		リットル			
一次側電源の状況	受電 ・ 停電	保 有 量		%			
切替接触器位置	一次側 ・ 発電側	地下燃料槽		リットル			
制御回路の状況	遠 ・ 自 ・ 試	保 有 量		%			
送電状況	一次側 ・ 発電側	充電装置出力電流		A			
【備 考】		総 電 圧		V			
		保安及び警報装置の 作動の有無の確認		有 ・ 無			
		【備 考】					

予備自家発電設備 2 週保守点検記録簿					課 長				点 検 者		
令和 年 年 月 日 () 天 気			気 温		点検時刻		時 分				
発 電 機 室 内 温 度			℃		操 作 盤	界 磁 電 圧		V			
運転時刻	機 動	時 分				界 磁 電 流		A			
	停 止	時 分			直 流 電 源 盤	充 電 器 電 圧		V			
積算度数計	起動前	H				蓄 電 池 電 圧		V			
	停止後	H				負 荷 電 圧		V			
	計	H				充 電 器 出 力 電 流		A			
地下タンク残	運転後	リットル				蓄 電 池 電 流		A			
室内タンク残	運転後	リットル			退 出 確 認 事 項	制御回路 O C S		自動			
流 量 計	起動前	リットル				機関停止レバー		運転側			
	停止後	リットル				空気圧縮機		自動			
	計	リットル				注油用潤滑ポンプ		自動			
記 録 時 刻			時 分			各換気用圧力扇		自動			
発 電 機	電 圧	U － V	V			機関保温装置		自動			
		V － W	V			燃料移送ポンプ		自動交互			
		W － U	V		温水循環ポンプ		自動				
機 本 体	周 波 数		H z		点 検	異音・異臭・異常振動の有無					
	機関回転数		rpm			燃料・潤滑油・冷却水のレベル・漏洩					
	潤滑油圧力		kg/m ²		【記 事】						
	吸気圧力		kg/m ²								

凡 例

レ：異常なし

△：要注意

×：故障（以上）又は修理中

－：該当なし

予備自家発電設備 250KVA (3ヶ月・6ヶ月・1年)保守点検記録 令和 年 月 日 () 天気 外気温度 ℃ 室内温度 ℃					課 長				点 検 者		
		運転時刻	起動時間	積算時間計	積算度数計	室内灯目盛		流量計	燃料保有量		
起 動	時 分	秒	H	回	L	L	L	地下	L		
切替時刻		切戻時刻		H	回	L	L	室内	L		
運転内容		実負荷試験・無負荷試験・実用負荷			商用 側電 源	電 圧	RS V	ST V	SR V		
記 録 時 刻		時 分	時 分	電 流		R A	S A	T A			
発 電 装 置 電 源	電圧	U・V	V	V	周波数	H z					
		V・W	V	V		電 力	W				
		W・U	V	V							
	電流	U	A	A	点 検 項 目	異音・異臭・異常振動の有無					
		V	A	A		付属機器類の機能点検					
		W	A	A		遮断機・開閉器の開閉状態確認					
	周 波 数	Hz	Hz	各種表示灯の点灯状況の確認							
	電 力	kW	kW	燃料・潤滑油・冷却水のレベル・漏水点検							
	力 率	%	%	機器、配管等の外観点検							
	界 磁 電 圧	V	V	機器室内外の状態点検							
	界 磁 電 流	A	A	油脂類の保有状況点検							
	電圧設定値					機器及び室内外の清掃					
潤滑油圧力	Mpa	Mpa	蓄電池の電槽亀裂等の確認								
潤滑油温度	℃	℃	不凍液の濃度点検								
冷却水温度	℃	℃	【以下6か月点検】								
機関回転数	rpm	rpm	端子接続部の点検								
自動 充電 装置	記録時刻		時 分		蓄電池全槽の電圧、比重、液晶度及び液レベルの点検						
	充電器出力電圧		V		上記の結果に基づく必要な措置						
	充電器出力電流		A		【以下1年点検】						
	出力電圧設定値		—		絶縁抵抗及び接地抵抗の測定						
蓄 電 池	電 圧	① V	② V	③ V	④ V	潤滑油の汚損点検					
		⑤ V	⑥ V	⑦ V	⑧ V	遮断機、開閉器の作動点検					
		⑨ V	⑩ V	⑪ V	⑫ V	燃料油槽の水抜き					
	蓄電池総電圧 V		3ヶ月保守は代表槽 6ヶ月保守は全槽								
退 出 時 確 認 事 項	電源切替用 COS		一次側		自動、試験、手動及び遠隔制御回路並びに保安装置回路の機能点検						
	制御回路 COS		自動		付属品、予備品の数量及び機能点検						
	機関停止レバー		運転側		上記の結果に基づく必要な措置						
	バッテリースイッチ		ON		【記 事】						
	換気用圧力扇		自動								
	燃料移送ポンプ		断								
	機関保温装置		自動								
	注油用潤滑油ポンプ		自動								

凡 例 レ：異常なし △：要注意 ×：故障（異常）又は修理中 —：該当なし

予備自家発電設備 250KVA					課長				記録者	
緊急保守記録簿										
施設名					影響を受けた施設					
用途										
容量										
発生（発見）日時	年	月	日（ ）	時	分	運用上の支障の有無 （ノータムの発行） （航空機への影響等）				
仮復旧日時	年	月	日（ ）	時	分					
復旧完了日時	年	月	日（ ）	時	分					
項目	名称				項目	名称				
設備又はシステム					項目（大分類）					
部位					項目（小分類）					
部品										
状況・処置の経緯										
経緯							担当		記事	

予備自家発電設備管理報告書

令和 年 月

佐賀空港事務所

項 目	内 容	備 考
施 設 名		
用 途		
容 量	PS KVA	
運 用 状 況		
製造後運転時間・回数	時間	回
月運転時間・回数	時間	回
月停電時間・回数	時間	回
運 用 停 止 の 有 無		回
【記 事】		
保 守 状 況		
月間試運転時間・回数	時間	回
月 間 燃 料 消 費 量	リットル	
月 末 燃 料 残 量	リットル	
保 守 実 施 状 況		
【記 事】		

予備自家発電設備故障等報告書		課長				担当	
令和 年 月 日							
施 設 名							
設 備 名							
用途及び容量							
発生（発見）日時							
復旧日時（予定）							
発 見 方 法							
故障等の状況							
故障等の原因							
措 置							
影響を受けた施設							
ノータムの発行・航空機への影響の有無	有 ・ 無 （別紙ノータム発行依頼表のとおり）						
その他必要とする事項 （再発防止対策及び概算費用、運用上の影響、他の施設での発生の可能性等）							

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 日常点検表 その1

点検表-1

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
1. 受配電機器関係				
指示計器、表示操作類	各計器の表示値の適否の点検。			
変圧器	温度の適否を温度計の指示値により確認、異常な高温となっている場合は、負荷電流の状態を確認。			
整流装置	表示灯類の点灯状態の点検。			
定電流調整装置 CCR本体、出力装置、 CCT本体	(a)温度上昇、音響、異臭、異常振動等、電流値(接地指示計の指示値を含む。)及び絶縁抵抗値を確認。 (b)ケーブル接続部の接続状態を確認。			
2. 制御機器・監視装置関係				
航空灯火電力 監視制御 ①中央／ローカル処理装置及び監視卓	表示部の機能及び運用状態等を確認。			
②グラフィックパネル	(a) 異音、異臭及び汚れ具合等を点検。 (b) 端子部、コネクタ、基板の接続及び取付状態を確認。 (c) ランプテストの機能の確認。			
③インターフェース盤	(a) 機器取付状態の確認。 (b) 配線及びコネクタ接続状態の確認。			
④I/O端末装置、変換器盤、分電盤	(a) 異音、異臭及び汚れ具合等を点検。 (b) 端子部、コネクタ、基板の接続及び取付状態の確認。			
⑤伝送装置	(a) 機器取付状態を確認。 (b) 配線及びコネクタ接続状態を確認。			
⑥プリンター及びハードプリンター	印字状況を確認。			
⑦運用卓及び監視卓	(a) 異音、異臭及び汚れ具合等を点検。 (b) 端子部、コネクタ、基板の接続及び取付状態を確認。 (c) ランプテスト機能の確認。			

施設課長	電 気 担 当 者		業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 日常点検表 その2

点検表-1

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
3. 灯火施設関係				
飛行場灯台 進入灯台 (ライトチェック)	(a) 点灯状況、レンズ、フィルタに異常はないかの確認。 (b) 正常に回転しているかどうかを確認。 (c) 断芯標示灯が点灯した場合には速やかに電球の交換。			
地上型標識灯 ①誘導路灯及び誘導案内灯 (ライトチェック)	(a) 点灯状況、灯器の損傷、汚損、水平向き等の点検、電球の断芯、変色、灯器類及び附属品の破損しているものは交換。 (b) 定電流回路に使用する電球は断芯後再びフィラメントが融着する場合があるが、この時は光度が著しく低下しているから注意深く点検して取り換えること。			
②誘導路灯及び誘導案内灯以外 (ライトチェック)	(a) 点灯状況、灯器の損傷、汚損、水平向き等の点検、電球の断芯、変色、灯器類及び附属品の破損しているものは交換。 (b) 定電流回路に使用する電球は断芯後再びフィラメントが融着する場合があるが、この時は光度が著しく低下しているから注意深く点検して取り換えること。			
埋込型標識灯 (ライトチェック)	点灯状況、灯器の損傷、汚損の点検、電球が断芯したものは交換。			
風向灯 (ライトチェック)	点灯状況及び吹流しの指示状況を確認、電球の断芯したものは交換。			
航空障害灯 (ライトチェック)	航空障害灯は高所又は遠隔に設置されているため点灯状況を監視。			
エプロン照明灯 (ライトチェック)	点灯状態の点検。			
旋回灯 (ライトチェック)	点灯状態の確認。			
閃光放電灯 (ライトチェック)	点灯状況、灯器の損傷、汚損、水平向き等の点検、電球の断芯、灯器類及び附属品の破損しているものは交換。			
進入角指示灯 (ライトチェック)	点灯状況、レンズ、フィルター汚れ、草等による光柱への障害及び灯体の取付状態の異常の有無並びに灯器を前面・真横から見通して傾いていないか点検。断芯交換、レンズ清掃、障害物の除去等は直ちに行い、灯体取付状態の異常、傾き等が認められた場合には精密点検を実施。			
航路標識灯 (ライトチェック)	点灯状態を確認。			

施設課長	電 気 担 当 者		業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 週1回(月2回)点検表

点検表-2

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
1. 受配電機器関係				
計器用変成器	(a) 汚損、損傷、亀裂、過熱、変色、漏油等の有無を点検。 (b) 接続部の変色の有無を点検。 (c) 接地線の外れ、断線等の有無を点検。			
変圧器	(a) 音響、異臭、異常振動等の有無を点検。 (b) 防塵フィルター脱落の有無、盤内圧力扇の作動を確認。			
進相コンデンサー、直列リアクトル	異音、異臭、変形、ふくらみ等の有無を点検。			
蓄電池 据置鉛蓄電池 制御弁式	(a) 蓄電池の損傷、液漏れ、汚損等の有無を点検。 (b) 蓄電池の総出力電圧を確認。		[V]	
整流装置	操作、切替スイッチ等の状態を点検。			
2. 灯火施設関係				
埋込型標識灯 (月2回)	レンズの汚損状況に応じて、レンズの清掃。			
3. 街路灯	点灯状態を確認。			

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 月1回点検表 その1

点検表-3

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
1. 受配電機器関係				
配電盤	(a) 扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検。 (b) 汚損、損傷、変形、亀裂、塗装の剥離及び錆の有無を点検。 (c) ボルトの緩みの有無を点検。 (d) 雨水浸入、ほこり等の堆積状態を点検。 (e) 標識の汚損及び取付状態を点検。			
指示計器、表示操作類	配電盤等の信号灯、表示灯類をランプチェックで確認。			
CCR-U	(a) 汚損、異音、異臭、過熱の有無を点検。 (b) 動作状態を点検。 (c) 計器類の運転記録の確認。 (d) 直流分電盤目視外観の点検。		No, 1 [V] [A] No, 2 [V] [A]	
2. 分電盤・開閉器箱	(a) 異常音の有無を確認。 (b) 各開閉器等の開閉状態を点検。			
3. 灯火施設関係				
誘導路灯及び誘導案内灯以外 (灯体の構造劣化を主体とした点検)	(a) 灯火の点灯状況、灯体の状態点検、灯器の汚損及び損傷を点検し、灯器の汚損及び損傷しているものは清掃又は交換。 (b) 灯器の水平、向き、仰角を確認し、必要に応じ水準器等により点検調整すること。 (c) 橋梁、灯柱(付帯構造物含む)及び防護柵等のき裂、錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無を点検。			
誘導路灯及び誘導案内灯以外 (灯体の機能を確保する点検整備)	(a) 灯器の点検手入 灯器を取り外し、電、ソケット、リード線、レンズ、フィルター等の異常の有無の確認及び中性洗剤、刷毛、綿布等にて清掃。 (b) 灯体の塗装が褪色、剥落したり発錆の有無を確認し必要に応じ錆落しをして、指定色のラッカー等で塗装。			

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 月1回点検表 その2

点検表-3

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
3. 灯火施設関係				
飛行場灯台	(a) 光源位置の点検、灯体、レンズ、フィルタの清掃 レンズは柔らかい布等で、内部から静かに拭く。アクリル製のフィルタはシリコン布で軽く拭く。 (b) 回転室の点検手入及び注油回転室は電動機の温度上昇、回転音、減速室の油漏れ、集電環の汚損、刷子の摩耗等に注意し点検手入清掃し注油。 (c) 電球交換器の点検手入電球及びソケットの点検、電球交換器、接点の点検手入及び清掃。 (d) 配電盤の点検電圧計の指示、電線接続端子、ヒューズ接続の緩み等の点検。 (e) 灯柱(付帯構造物含む)及び防護柵等のき裂錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無を点検。 (f) その他避雷針、断芯標示灯、接地線等の点検。		閃光回数 基準値：28±2 回/分 測定値： 回/分	
進入灯台	(a) 光源位置の点検、灯体、レンズ、フィルタの清掃 レンズは柔らかい布等で、内部から静かに拭く。アクリル製のフィルタはシリコン布で軽く拭く。 (b) 回転室の点検手入及び注油回転室は電動機の温度上昇、回転音、減速室の油漏れ、集電環の汚損、刷子の摩耗等に注意し点検手入清掃し注油。 (c) 電球交換器の点検手入電球及びソケットの点検、電球交換器、接点の点検手入及び清掃。 (d) 配電盤の点検電圧計の指示、電線接続端子、ヒューズ接続の緩み等の点検。 (e) 灯柱(付帯構造物含む)及び防護柵等のき裂錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無を点検。 (f) その他避雷針、断芯標示灯、接地線等の点検。		閃光回数 基準値：60±3 回/分 測定値 No1： 回/分 回転数 No2： 回/分	
埋込型標識灯 (灯器の設置状況確認を主体とした点検)	(a) 灯火の点灯状況、灯体の状態点検(灯器周辺の舗装状況を含む。)、灯器の汚損・損傷を点検し、灯器の汚損・損傷しているものは清掃・交換。 また、舗装が劣化している場合は、補修材にて応急補修を行う。 (b) トルクレンチ、Tレンチにより所定のトルクで締め付けられているかを確認、緩みがある場合には増締めを行う。 (c) FL-9の場合 灯体Aのねじ緩み状態をハンマー等による打診音にて点検を行う。			

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 月1回点検表 その3

点検表-3

平成 年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
3. 灯火施設関係				
風向灯	(a) 灯器の点検手入 灯柱を倒し、吹流し、照明灯及び障害灯を点検し、中性洗剤、刷毛、綿布等にて清掃。 (b) 吹流しの汚損及びベアリングの回転具合を点検し注油を行う。吹流しの汚損の甚だしいものは交換。 (c) 灯柱のき裂、錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無の点検。 (d) 灯体及び円形帯の塗装が褪色又は剥落しているときは指定色のラッカー等で塗装。 (e) 配電箱の点検手入。			
旋回灯	(a) 灯器の点検手入 電球、ソケット、リード線、反射鏡等を点検し、清掃。電球断芯に至らなくても黒化したものは交換。 (b) 配電箱の点検手入。 (c) 塗装の褪色、剥落している箇所は指定色のラッカー等で塗装。前面硝子の緊定具に防錆のためグリースの塗布。 (d) 灯器を指定された向きに調整。			
閃光放電灯 (灯体の構造劣化を主体とした点検)	(a) 灯火の点灯状況、灯体の状態点検、灯器の汚損・損傷の点検。灯器の汚損・損傷しているものは清掃・交換。 (b) 灯器の水平・向き・仰角を水準器等により点検調整。			
閃光放電灯 (灯体の機能を確保する点検整備)	(a) 前面ガラス、内外面及び反射鏡の清掃。反射鏡は鹿皮又は柔らかい綿布にて清拭。 (b) 安全スイッチの動作を点検。 (c) 回路の主要点の電圧をチェック。			閃光回数 基準値：120 回/分 測定値： 回/分

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 月1回点検表 その4

点検表-3

進入角指示灯 (月1回)	(a) レベルの測定・調整 灯光が正しく投射されているかどうか確認するため、滑走路上の基準点(滑走路縁)レベル、進入角指示灯のアングル上面 (4ヵ所／基)、基準点レベル(2ヵ所)及び仰角点検台(2ヵ所／基)のレベルを測定し、必要のある場合はレベル調整すること。 (b) 傾斜角度の測定・調整 進入角指示灯の各灯器の光学ユニットの傾斜角度を測定し、必要のある場合は調整すること。 (c) 灯器の点検、手入れ清掃 ア. 電球、反射鏡、レンズ、フィルタ等に異状がないかを点検し、付着した塵埃油等を鹿皮及び綿布で静かに清掃すること。 イ. 灯底の水抜孔に塵埃が溜らないように清掃すること。 ウ. 灯体の塗装の褪色が著しいときには、指定色のラッカーにて塗装すること。		
進入角指示灯 (2か月1回)	整備作業所で行う精密点検 (a) 灯体を取り外し、電球、ソケット、リード線、レンズ、フィルター、反射鏡に異状がないかを点検。 (b) 光学カセットを交換し、その場合は灯器と仰角点検とのレベルチェックを行う。 (c) 灯体部品の状態点検、清掃、絶縁抵抗測定、配光測定等を実施する。		
街路灯	第1駐車場のハイボール式照明灯柱の昇降動作確認を行い、鳥巢等の除去のこと。		
航路標識灯	(a) 灯体、太陽電池パネル、及び灯標電源部の外観、塗装、動作(日光弁、点滅器、同期装置、電球交換機)、防水性、配線などに異状はないか。 (b) 灯標電源部の電池電圧を測定し、電圧が規定値(12V)を下回るときは電池を交換するものとする。 (c) 太陽電池パネルは、油膜、埃、及び鳥糞などで汚れた受光面を中性洗剤等で洗い落とし、清水で清掃するものとする。		

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 3月1回点検表 その1

点検表-4

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
1. 受配電機器関係				
変圧器	変圧器の表面温度を放射温度計により測定 200KVA No, 2CCR盤 150KVA No, 1CCR盤 75KVA 照明低圧盤1 50KVA 照明低圧盤2 20KVA " 30KVA エプロン低圧盤 20KVA 所内伝統盤 100KVA 所内動力盤		℃ ℃ ℃ ℃ ℃ ℃ ℃ ℃	
定電流調整装置 CCR本体、出力装置、 CCT本体	接地警報器の動作を確認する。 (試験スイッチによる指示確認) RTZL:OP-C/1 RTZL:SCR-15R RCLL-1:OP-C/1 RCLL-1:SCR-10R ALS-1:OP-D/1 予備器-2:SCR-15RS ALS-1:OP-C/2 ALS-1:SCR-30R REDL:OP-C/1 REDL:SCR-30R 予備器-3:SCR-15RS 予備器-1:SCR-30RS RCLL-2:OP-C/1 RCLL-2:SCR-10R ALS-2:OP-C/1 ALS-2:SCR-20R REDL-2:OP-C/1 REDL-2:SCR-20R 予備器-4:SCR-3.5RW-C/O PAPI:SCR-3.5RW-D/O TEDL/TCLL:CCT-5T2			

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 3月1回点検表 その2

点検表-4

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項		判 定	記 事
2. 灯火施設関係				
地上型標識灯 誘導路灯及び誘導案内灯 (灯体の構造劣化を主体とした点検)	(a) 灯火の点灯状況、灯体の状態点検、灯器の汚損及び損傷を点検し、灯器の汚損及び損傷しているものは清掃又は交換。 (b) 灯器の水平、向き、仰角を確認し、必要に応じ水準器等により点検調整する。			誘導路灯点検灯器番号No, ～ No, 誘導案内灯点検灯器番号No, ～ No,
地上型標識灯 誘導路灯及び誘導案内灯 (灯体の機能を確保する点検整備)	(a) 灯器の点検手入 灯器を取り外し、電球、ソケット、リード線、レンズ、フィルター等に異状はないか点検し中性洗剤、刷毛、綿布等にて清掃。 (b) 灯体の塗装が褪色、剥落したり発錆があったときは錆落しをして、指定色のラッカー等で塗装。			誘導路灯点検灯器番号No, ～ No, 誘導案内灯点検灯器番号No, ～ No,
航空障害灯	設置箇所が高所のため足場に注意して作業すること。 (a) 灯器の点検手入 電球、ソケット、リード線、レンズ、フィルター等を点検し、灯器は中性洗剤、刷毛、綿布等にて清掃すること。電球は、断芯に至らなくても黒化したもの及び6ヶ月を経過したものは交換する。 (b) 点滅器、配電箱、制御盤等の点検手入 点滅器の動作を点検し、接点は特に焼損していないか。必要な箇所に注油する。 (c) 灯柱(付帯構造物含む)、防護柵等のき裂、錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無を点検。 (d) 塗装の褪色、剥落している箇所には指定色のラッカー等で塗装する。			
航空灯火施設用電線路	ケーブルの絶縁抵抗は回路を一括して測定し、必要のある場合に適宜灯器用変圧器の接続箇所を開き区分して測定。			
昇降装置	(a) ポール基部 (モーター周辺の雨水の浸入確認) (b) 昇降動作確認			W1灯柱 ～ E2灯柱

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 6月1回点検表 その1

点検表-5

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
1. 受配電機器関係				
蓄電池 据置鉛蓄電池 制御弁式	(a) 全セルについて電槽、ふた、各種栓体、パッキン等に変形、損傷、亀裂及び漏液の有無を点検する。また、蓄電池の交換時期を確認する。 (b) 封口部のはがれ、亀裂等の有無を点検する。 (c) 全セルについて、電圧を確認する。また、減液警報用電極の断線、腐食、変形等の有無を点検する。 (d) 架台及び外箱の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。			
整流装置	(a) 外箱の外観、計器、表示灯、スイッチ等の変形、損傷、汚れ、腐食等の有無を点検する。 (b) 各部品の汚損、損傷、温度上昇、加熱、変色、異音、異臭等の有無を点検する。 (c) 次の値を測定し、その良否を確認する。 ・交流入力電圧 ・負荷電圧 ・出力電流及び負荷電流 (盤面計器による。) (d) 開閉器及び遮断器の変形、損傷等の有無を点検する。また、入力出力負荷、警報等の状況によるON, OFF状態を確認する。			
2. 制御機器・監視装置関係				
航空灯火電力 監視制御 ①中央／ローカル処理装置及び監視卓	(a) エアーフィルターの清掃 (b) 各装置の動作状態及び機能の確認 (c) システムコンソール装置の清掃			
②伝送装置	(a) エアーフィルターの清掃 (b) ファンモジュール等の動作確認			
3. 灯火施設関係				
埋込型標識灯 (灯体の機能を確保する点検整備)	(a) 灯器の点検手入 灯体を地上に引き上げ、電球、ソケット、リード線、レンズ、フィルター、反射鏡等に異状はないか、特に灯体の発錆に注意し内部に漏水のある場合には排水し、中性洗剤、刷毛、綿布等にて清掃すること。 (b) 灯体部品の状態点検・清掃、絶縁抵抗測定、配光測定、灯体の塗装等を実施すること。			
	(c) FL-9の場合 灯体Aのボルト及びねじ穴の部品の摩耗状態点検を行い、摩耗した部品は交換すること。			

施設課長	電 気 担 当 者

業務責任者	勤 務 者

佐賀空港飛行場灯火電気施設 6月1回点検表 その2

点検表-5

エプロン照明灯	(a) 灯器の点検手入 電球、ソケット、リード線、反射鏡等を点検し、清掃すること。電球断芯に至らなくても黒化したものは交換。 (b) 配電箱又は安定器収納箱及び内部機器の点検手入。 (c) 灯柱(付帯構造物含む)、防護柵等のき裂、錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無を点検。 (d) 塗装の褪色、剥落している箇所は指定色のラッカー等で塗装。なお、前面硝子の緊定具に防錆のためグリースを塗布。 (e) 灯器を指定された向きに調整。		
灯器用変圧器	(a) 変圧器点検手入 変圧器の接続部の点検及び変圧器の亀裂の有無の確認を行うこと。 (b) 変圧器収納箱の清掃 蓋等は、必要のある場合には塗装すること。		
場内・場外マンホール	(a)鉄蓋の土砂除去、マンホール内のケーブル(ラック含)の状況確認及び水抜きを行うこと。		

佐賀空港飛行場灯火電気施設 1年1回点検表

点検表-6

年 月 日 曜日	天候	気温 ℃	湿度 %	点検者
種 別	点 検 事 項	判 定	記 事	
1. 受配電機器関係				
配電盤外観	(a) 配電盤の据付状態、損傷、錆、腐食、変色等の有無を点検。 (b) 盤内への漏水又は痕跡、小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検。 (c) 点検扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検。 (d) 操作レバー・ボタン、切替スイッチ等の機器破損及び機器取付状況の良否を点検。			
街路灯	(a) 灯具部、取付部の点検・清掃 (b) 安定器収納部、照明灯柱の点検 (c) 塗装状況の点検補修 (d) 絶縁抵抗の測定 (e) 灯柱(付帯構造物含む)、防護柵等のき裂、錆、腐食、損傷、固定ボルトの緩み、基礎のひびわれの有無を点検。			
航路標識灯	絶縁抵抗測定を実施し、電気設備技術基準で定められた値に保つこと。			

精密進入角指示灯仰角測定表

施設課長	電気担当者	業務責任者

測定日 年 月 日 曜日 天候

測定者：

点検表6の別紙

2 9 側

進入角 3° 00'

灯器	設定値	測定値	良否	調整後
No. A (2° 25')	L	+-		
		+-		
	C	+-		
		+-		
R	+-			
	+-			
ユニット交換				
No. B (2° 45')	L	+-		
		+-		
	C	+-		
		+-		
R	+-			
	+-			
ユニット交換				
No. C (3° 15')	L	+-		
		+-		
	C	+-		
		+-		
R	+-			
	+-			
ユニット交換				
No. D (3° 35') (滑走路側)	L	+-		
		+-		
	C	+-		
		+-		
R	+-			
	+-			
ユニット交換				

1 1 側		進入角 3° 00'			
灯器	設定値	測定値	良否	調整後	
No. D (3° 30') (滑走路側) 色光角点検調整	R	+-			
		+-			
	C	+-			
		+-			
	L	+-			
		+-			
No. C (3° 10') 色光角点検調整	R	+-			
		+-			
	C	+-			
		+-			
	L	+-			
		+-			
No. B (2° 50') 色光角点検調整	R	+-			
		+-			
	C	+-			
		+-			
	L	+-			
		+-			
No. A (2° 30') 色光角点検調整	R	+-			
		+-			
	C	+-			
		+-			
	L	+-			
		+-			

(注1) 仰角調整管理値は2分以内とする。

(注2) 灯器点灯から15分程度経過した後、色光角が安定した状態で測定する。

施設課長	電 気 担 当				業務責任者	勤務者			
									点検表－7
航 路 標 識 灯 点 検 表									
佐賀空港飛行場灯火電気施設 月 1 回点検									
年 月 日 曜日		温度 ℃	湿度 %	天候	点検者				
種 別	点 検 事 項				No1	No.2		No.3	
航路標識灯									
標 体	破損、変形、汚れはないか。								
	塗装の剥離はないか。								
	固定ボルトの緩みはないか。								
	水密パッキンの異常、漏水はないか。								
灯ろう	破損、変形、汚れ、結露はないか。								
	取付ボルトの緩みはないか。								
点滅器	日光弁によるON-OFF動作に異常はないか。								
	モールス符号発光に異常はないか。(8秒毎にU)								
配線	端子盤に緩みはないか。								
	線、厚着端子、端子盤に腐食はないか。								
太陽光パネル	破損、変形、汚れはないか。								
	起電電圧				V		V		
蓄電池	破損、変形、汚れはないか。								
	充電電圧				V		V		
電源制御器	破損、変形、汚れはないか。								
	無負荷電圧				V		V		
	実負荷電圧				V		V		
< 特記事項 >									
※灯質(モールス符号)0.5+0.5+0.5+0.5+1.5+4.5									

令和 年度

佐賀空港航空灯火施設等運用管理委託勤務予定(実績)表

様式3

施設課長	電 気 担 当 者	業務責任者

受託者名[]

[illegible]

様式4 令和 年 月分

受託件名 佐賀空港航空灯火施設等運用管理委託 月間作業予定(実績)表

受託者名

[illegible]

機械点検表-1

施設課長	電気担当者	業務責任者

機械設備空調機送風機等保全月報

年 月 日	曜日	温度 ℃	湿度 %	天候	測定	点検者
点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容					点検結果
シーズンイン点検						
シーズンオフ点検						
1.パッケージ型空調機	腐食、変形、破損等の劣化有無を点検する。					
(1)外観の状況	劣化が軽微な場合は補修をする。(屋外機含む)。(IN) (OFF)					
(2)冷房暖房切り替え	補助電気ヒータ、加湿器及び蒸発式加湿器の電源投入及び電源遮断を するとともに自動制御器の切り替え作動確認を確実に行う。(IN)					
(3)加湿器給水	給水止弁の開閉を確認する。(IN)					
(4)排水系統	汚れ及び発錆、腐食の有無を点検する。					
ア)トレン排水	本体トレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。 (2年に1回メーカーの精密点検を行う。)					
(5)電気系統						
ア)操作及び動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。(IN) (OFF)					MΩ
イ)端子	緩み、変色の有無を点検する。緩みのある場合は増し締めをする。(IN)					
ウ)操作盤	汚れや異物の付着、若しくは変形がある場合は、清掃又は調整をする。(IN) 主電流及び圧縮機電流が定格値以下にあることを確認する。(IN) 供給電源電圧に異常のないことを確認し、通電、発熱状態の異常の					V
エ)クランクケースヒータ	有無を点検する。(IN)					
(6)送風機(室内含む)						
ア)軸受け	音及び振動異常の有無を点検し、給油不足の場合は補充する。(IN)					
イ)プロペラファン、シロッコファン	汚れ、損傷等の劣化の有無を点検し、汚れがある場合は清掃する。(IN)(OFF)					
ウ)電動機	回転方向が正回転であることを確認する。(IN)					
(7)ア)エアフィルタ材	詰まり、損傷等の劣化の有無を点検し、汚れがある場合は又は劣化が軽微 の場合は清掃又は補修する。(IN) (OFF)					
イ)枠	詰まり、損傷等の劣化の有無を点検する。(IN) (OFF)					
(8)冷媒系統	(1)ガス漏れの有無を点検する。(IN)(OFF) (2)配管の損傷等劣化の有無を 点検する、又劣化が軽微の場合は清掃又は補修する。(IN) (OFF)					
(9)熱交換器	ファンコイルの汚れ、損傷等の劣化の有無を点検する。 汚れがある場合又は劣化が軽微の場合は清掃又は補修する。(IN) (OFF)					
(10)保安装置						
ア)インターロック	室内送風機運転と補助電気ヒータ通電の良否を点検する。 作動不可能の場合は調整する。(IN) (OFF)					

機械点検-2

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容	点検結果
イ)温度ヒューズ	溶断や変形、変色の有無を点検し、不具合がある場合は交換する。(IN)	
ウ)加熱防止器	作動の良否を点検し、作動不良の場合は調整又は交換する。(IN)	
エ)圧力計	圧力計の精度を点検し、指示ずれの場合は調整する。(IN) (OFF)	
(11)自動制御器	温度、温度調節器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に動作することを確認する。(IN)	
(12)運転調整		
ア)電源電圧	供給電源電圧に異常のないことを確認し、運転時の電源変動が定格±10%以内にあることを確認する。(IN)	V
イ)運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格値以下にあることを確認する。(IN) 補助電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。(IN)	
ウ)熱交換状況	冷媒の液温、室外機及び室内機吹き出し空気温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。(IN)	℃
エ)音、振動	異常のないことを確認する。	
2.全熱交換器		
(1)外観状況		
ア)本体	発錆、腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検し、劣化が軽微な場合は補修する。(IN) (OFF)	
イ)フィルター	詰まりや損傷の有無を点検し、汚れや劣化が軽微な場合は清掃又は補修する。(IN) (OFF)	
ウ)保温材	破損の有無を点検し、破損が軽微の場合は補修する。(IN) (OFF)	
(2)全熱交換器エレメント		
ア)軸受け	音及び振動等異常の有無を点検する。 給油不足の場合はグリスを給油をする。(IN) (OFF)	
イ)エレメント	詰まり及び損傷等の劣化の有無をする。 汚れがある場合及び劣化が軽微の場合は清掃又は補修する。(IN) (OFF) 転回バランスの良否を点検する。(IN) (OFF)	
ウ)エアシール	異常摩擦や損傷等の有無を点検する。(IN)	
エ)駆動装置	ベルト(チェーン)の緩み及び損傷等並びに劣化の有無を点検し、又緩みがある場合は増し締めをする。(IN) (OFF)	
(3)電気系統		
ア)電源電圧	電圧の変動が定格値±10%以内にあることを確認する。(IN)	V
イ)キアードモータ送風機	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。(IN)	MΩ
	モータ表面の温度異常の有無を点検する。(OFF) 電流値が定格値内であることを確認する。(IN) (OFF) オイルシールの油漏れの有無を点検する。緩みのある場合は増し締めする。	
ウ)リレー	動作の良否を確認する。(IN) (OFF)	
エ)端子類	緩み、変色や溶解等の有無を点検する。 緩みのある場合は増し締めをする。(IN) (OFF)	

機械点検-3

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容	点検結果
(3)空気洗浄装置		
ア)ろ材	目詰まりの有無を点検する。目詰まりの著しい場合は洗浄又は交換する。	
	差圧計により圧力損失を点検する。初期圧の2倍以上の場合は洗浄又は交換する。	
	差圧計により圧力損失が10mmH ₂ O(98Pa)以下であることを確認する。	
イ)枠	劣化が軽微な場合は、補修する。	
ウ)チャンパー	変形、腐食等の劣化の有無を点検し、劣化が軽微な場合は又汚れがある場合は補修又は清掃をする。	
エ)制御盤	表示灯の点灯の良否を点検し、点灯不良の場合は交換する。	
	タイマー又は差圧計の作動の良否を点検する。	
オ)電圧電源部	電圧が規定値にあることを確認する。	V
	絶縁抵抗を測定し、規定値以上あることを確認する。	MΩ
(4)衛生器具		
ア)洗面器、手洗い器	亀裂、損傷等の劣化の有無を点検する。	
掃除流し、台所流し	器具と排水金具、排水管、トラップ等の接続部の緩み、腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。緩みがある場合は増し締めをする。	
	排水の引き具合及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は付属配管を清掃をする。	
	トラップの排水の良否を点検する。	
イ)小便器及び大便器	亀裂、損傷等の劣化の有無を点検する。	
	便器のフランジ及びボルトの損傷の有無を点検する。	
	洗浄管、便器の接続部の水漏れの有無を点検する。	
	排水の引き具合及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は付属配管を清掃をする。	
	トラップの封水の良否及び詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃をする。	
	水圧及び吐水時間の適否を点検する。水圧又は吐水時間が適当でない場合は調整する。	
ウ)シンク・タンク及び洗浄弁	タンク内の汚れ及びボールタップのピストン部の詰まりの有無を点検する。汚れ又は詰まりがある場合は清掃をする。	
	洗浄管の詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃をする。	
	弁を操作して排水状態の良否を点検する。排水不良の場合は清掃する。	
	弁を操作してピストン及びハンドルの動作の良否を点検する。	
	逆流防止器の空気取り入りの詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃をする。	
	水圧及び水時間の適否を点検する。水圧又は吐水時間が適当でない場合は調整する。	
	ボールタップの動作の良否を点検する。動作不良の場合は調整をする。	

佐賀空港SMS事象発生報告書

提出先：佐賀空港安全管理責任者（副所長） あて

報告者の所属	
報告者の氏名	
発 生 日 時	年 月 日 時 分
発 生 場 所	
1. 状況及び内容（何が、どうして、どうなったか）	
2. 状況図等（図面・写真の添付可）	
3. 原因及び誘因（考えられるもの）	
4. 対策・防止策（どうすれば防げるか）	
5. その他（コメント等）	